

コロナ禍のもとでの 航空安全への取り組み

=今、何が起きているのか
何をすべきか=



国際組織の動向と日本国内の課題

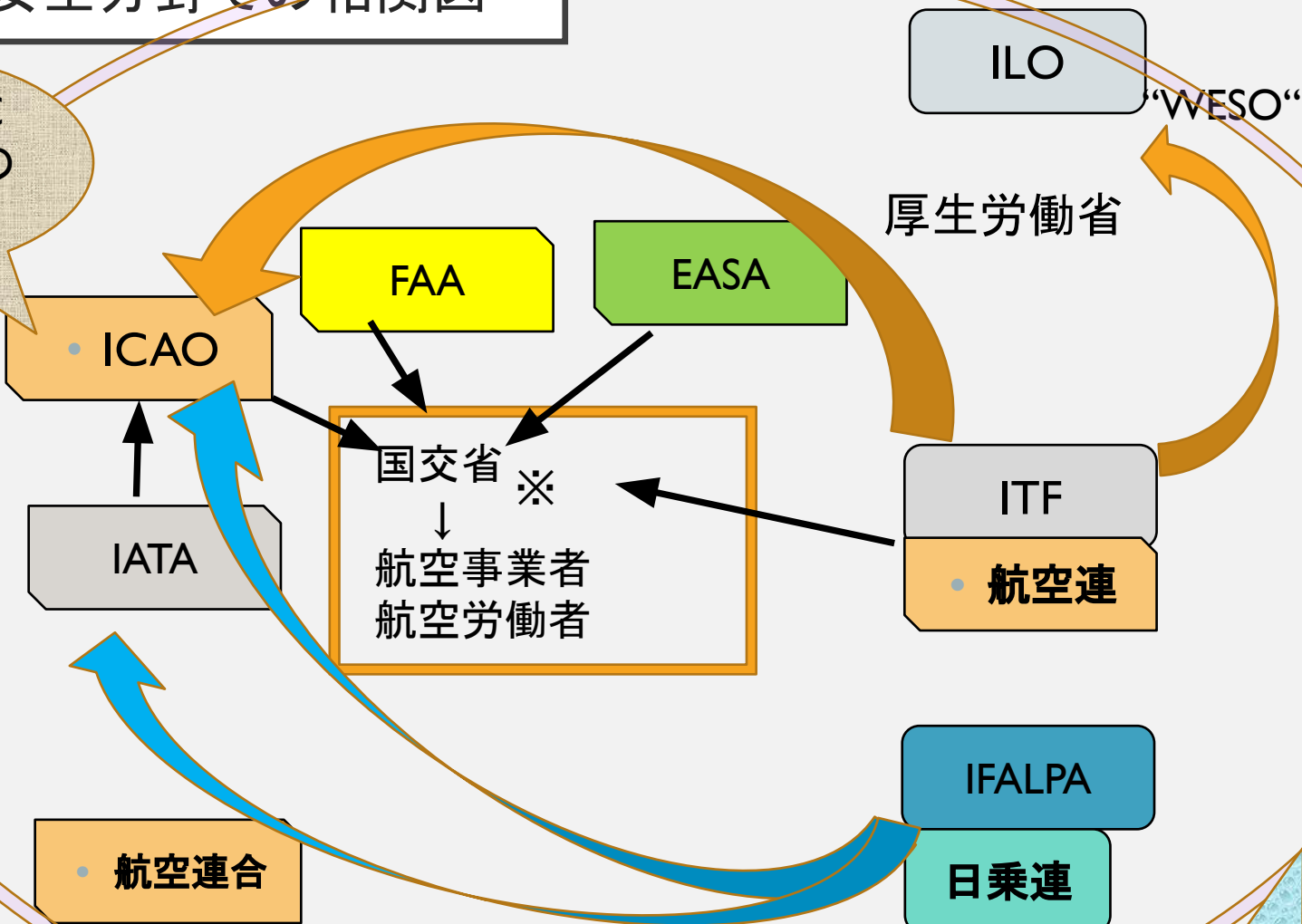
2022年2月 航空連政策委員(顧問) 奥平 隆

国際各機関の動向 航空の安全と労働安全衛生など

- ILO(国際労働機関) ……パンデミック発生直後から労働安全衛生に関して各職場で起きる影響に警鐘 SDGs ディーセントワーク
- ICAO(国際民間航空機構)……航空輸送に与える影響と、パンデミックからの回復への対策など。航空企業への救済策など
- EASA(EU安全局) ……欧州での航空輸送に与える影響への具体的対策と、パンデミックからの回復への対策など
- FAA(米国連邦航空局)……米国での航空輸送に与える影響への具体的対策と、パンデミックからの回復への対策など
- IATA 商業航空の危機に対しての
- ITF (国際運輸労連)……労働者の立場からの政策提言など
- IFALPA(国際定期航空操縦士協会)……定期航空パイロットの立場から

安全分野での相関図

ICAO HLCC
での14項目の
閣僚宣言



ディーセントワー
クの原則

※
COVID 禍 のもとでの
航空労働者の労働環境
各部門 への監督・行政
指導など

パンデミック発生以来 起きている安全問題

● <航空の幅広い分野で安全が脅かされている>

* 長期間駐機後の航空機材に異常発生



* パイロットの乗務機会減少によるヒューマンエラー発生。
パンデミック後の運航再開の現場でも発生が続く

* 稼働急増の航空貨物分野の労働者の過労とヒューマンエラー。



パンデミック発生以来 起きている安全問題(続き)

* 「マスク拒否」迷惑旅客(UNRULY PASSENGER)

* 2022年に入り、運航再開後の乗務員感染拡大での運航維持が困難に DAL UALなど

* 空港内GH関係のトラブル・事故も深刻

* アイルランドの大学の航空労働者への調査では精神的ストレスから「自殺願望」を抱く数値が上昇と

• ETC. こうしたことに ICAO IT F IFALPAが「声明」「見解」「対策指針」



ICAO IATAからの情報 「声明」や「SAFTY NEWS」

(現在のところ)大きなテーマは

- * 世界の航空輸送の確保.航空産業の維持
- * 航空輸送におけるCOVID19感染防止
- * 環境の大きな変化に伴う航空安全の確保
- * 現場労働者のメンタルヘルス問題



Safety Information Bulletin Airworthiness – Operations

SIB No.: 2020-14

Issued: 05 August 2020

Subject: Pitot-Static Issues After Storage due to the COVID-19 Pandemic

Ref. Publications:

EASA Guidance: [Return to service of aircraft from storage in relation to the COVID-19 pandemic.](#)

Applicability:

All aircraft that have been stored due to the COVID-19 pandemic, continuing airworthiness management organisations (CAMOs), maintenance organisations (MOs), and competent national airworthiness authorities (NAAs).

Description:

The aviation world has been heavily hit by the COVID-19 pandemic and an unprecedented number of aircraft has been grounded. This situation has caused severe financial pressure on air operators, as well as on their service providers. Gradually, the travel restrictions in and between countries are being lifted and operators are preparing to resume passenger flights. This requires first of all



● ITFとIFALPA の共同声明 2020年6月の時点

COVID-19 対策□ロックダウンを経て、世界中の国々が航空輸送再開にあたり航空規制当局や使用者が十分に対応できていない、

- * 安全・衛生およびセキュリティ上懸念
- * 航空機は、特異な仕事場であり、運航再開には追加 予防措置を考慮すべき

日本の現場で発生している 特徴的な問題

- 航空会社の経営を圧迫＝雇用・労働条件の危機
→労働条件などの切り下げが一時的でなくなっている
- 低労働条件に置かれたGHなどの職場での退職急増
- 出向・兼業など「コロナ対策」が新たな負担に(CAなど)

~~~~~

- 航空労働者への様々なストレスが限界に近づいている  
→労働条件低下・経済的危機感・雇用への不安、度重なる勤務変更、そして感染への不安など「ストレスの競合」

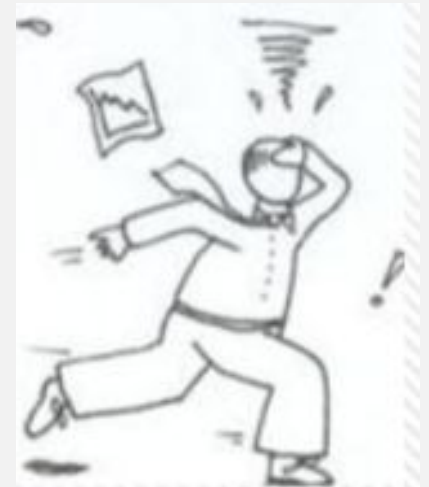




# 「これまでと異なる疲労」

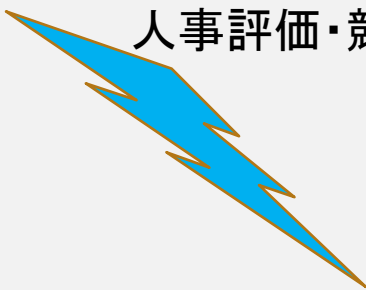
## 疲労を進行させる要因について

- **疲労の定義** 日本疲労学会は、「**疲労とは過度の肉体的および精神的活動**、または疾病によって生じた独特の不快感と休養の願望を伴う**身体の活動能力の減退状態**である」<sup>1)</sup>と定義。2019/08/05
  - ⇨ コロナ禍で労働環境が激変＝「量と質」でこれまでに無い過度のストレス
  - ⇨ 要因のなかには「社会の中での孤立」「家庭環境の激変」なども
  - ⇨ ストレス緩和の「サポート(支援)」が無いか悪化
- こうした中で疲労が急速に拡大・進行  
→ ILOやICAOが警戒する状況が日本でも・・・



長引くコロナパンデミックのなか  
労働者へのストレスは新たな段階に

労働者保護・支援も不足  
肉体的疲労と精神的疲労の拡大



人事評価・競争



ハラスメント

雇用不安



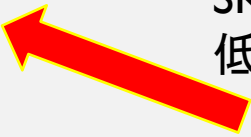
多忙な職場での過労



経済的な生活不安



SKILL(技量)の低下



コロナ感染不安



度重なる勤務変更



労働条件低下



社会的支援の不足

ベテランのサポート減少



# 航空各社の「安全報告」から見えてくる問題

- 「危険要因(ハザード)」が適切に取り上げられているか？
- PDCAが機能しているのか？
- 現場から躊躇なく指摘や報告が挙げやすい「信頼関係」が成立しているか？  
~~~~~
- 評価制度や目標管理で「他の労働者と協力」する力が低下。安心感が無い
- 現場労働者が参加しない「分析と対応決定」
- 結果として、トラブル発生後に、個人への注意喚起と周知徹底という「矮小化」で「PDCAが回らない」、トラブルを予知する情報が集まらない実態



PDCAのイメージ図



安全管理プロセス図 ICAO SMM IST より

PDCAのイメージ図

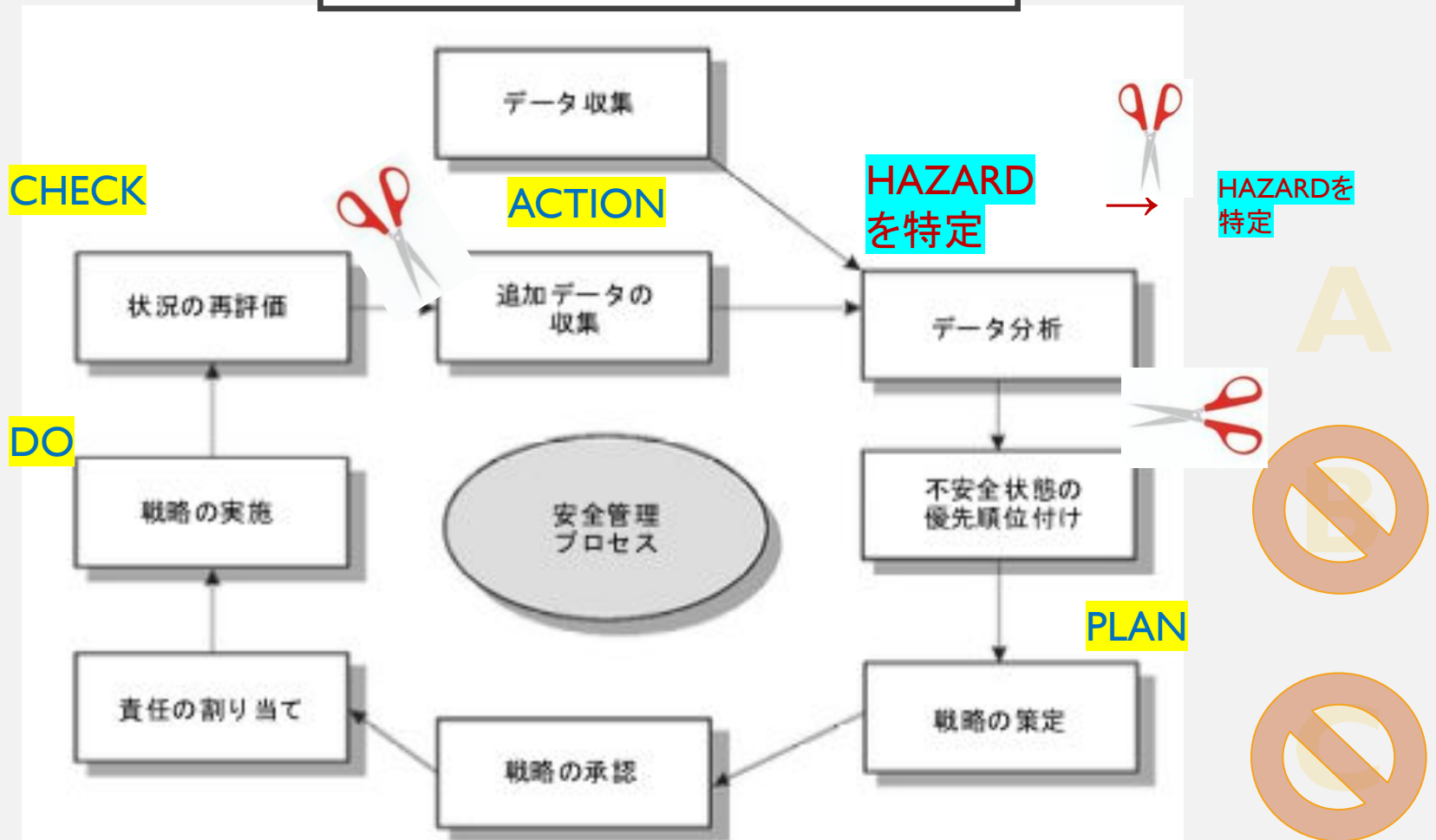
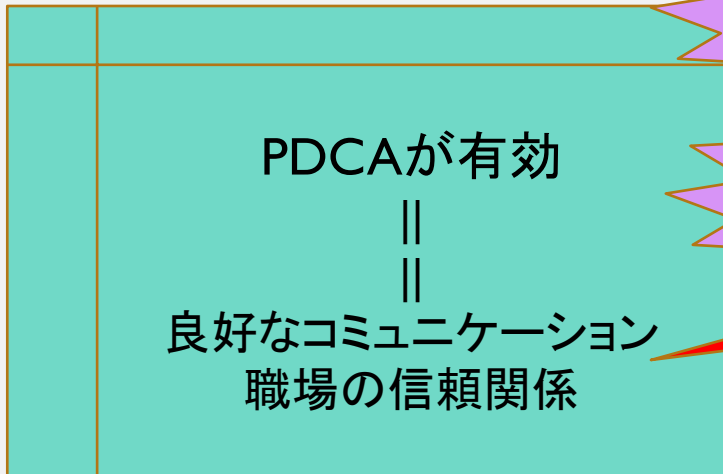


図5-2 安全管理プロセス

対策の基本は「真の安全文化」
スローガンや個人責任追求ではない

=国際各機関=
コロナ禍でも安全管理
はSMSの手法が有効

労働者抑圧型経営からの脱却が
求められている！！



危険

危険

労働現場からの
報告

原因究明
再発防止計画
のPDCA

人事評価・競争

個人責任追求圧力



対策は合理的・科学的に行われているか 問われる中で共同研究着手へ

- 国際各機関が注目し日本においても対策が求められているメンタルヘルスに注目
- 科学的根拠をもって問題を明らかにし対策へ
- 会社の圧力から離れた大学との共同研究に着手
- 🖐️ 航空連は筑波大学と共同で「航空労働者の精神的ストレス」を調査・研究に着手。調査研究結果は「科学的知見」となる。



ICAOが提起している心の健康サポート



労働者の心の健康を支える仕組み

- 中央 **MH&W (精神的健康及び福祉)**
管制官・パイロット・キャビンクルー
・メンテナンス要員
- 中央上 **ピアサポート (仲間による互助)**
- 中央下 **国の規制当局**
- 左上 **MHP EAP/EWP**
**(精神的健康の専門家
/従業員支援プログラム)**
- 左下 **AME**
**(航空監査医航空心理学者
/精神科医)**
- 右上 **専門職協会**
- 右下 **使用者 オペレーター**

<まとめ>

- **コロナパンデミック継続の中、国際的には「運航再開へ向けての安全確保」が重要と**
- **日本ではパンデミックからの回復に「人間中心の対策」が求められている**
 - ★ 労働条件や雇用への問題解決だけでなく、技術者として求められる「(運航便数の変動の中)訓練機会の確保」「新人訓練」が重要。適切な対応が求められている。また、ベテラン層の退職はこうした状況で「ハザード(危険要因)」となる
 - ★ 労働者へのコロナ禍における様々な精神的ストレスは、安全への脅威になっており、特別な対応が求められている。
 - ★ SMS(安全管理)として「ハザードの競合」への対策に着手が必要＝状況は今まで通りではない(発想の転換が必要)
- **最後に一言:「労働者を道具としてでなく、人間として扱うこと」⇨企業の維持継続の為に必要**

お疲れ様でした。



COVID-19
izolation

Designed by
Harun Özberk
Behance: hozberkcreative